

# 沖縄こどもの国



入園ゲート

「沖縄こどもの国」は、沖縄県内で唯一の本格的な動物園、ワンダーミュージアム、チルドレンズセンター、ふるさと園から構成される複合体験施設。ロゴマークはつながりを感じ、生み出す場所をイメージさせる。



トイレ外観

水とみどりの広場横に新設したトイレは、沖縄らしい鮮やかな屋根を用いた外観。男女トイレのほかにはバリアフリートイレ、キッズトイレ、授乳室を併設し、さまざまな利用者が、快適に過ごせる空間となっている。



トイレエントランス

トイレゾーンとベビーケアルームとに分かれる構成。それぞれに、自動ドアを設け、空調も整備。鳥類や虫の侵入を防ぎ、さらに沖縄の強い日差しや突如の降雨への対策にも一役買っている。



トイレ前室

目立ちすぎず、かつ入室した時の視認性を重視し、各トイレは、ラインに導かれるように空間が仕切られている。バリアフリートイレと、利用頻度の高いキッズトイレを手前に配置している。



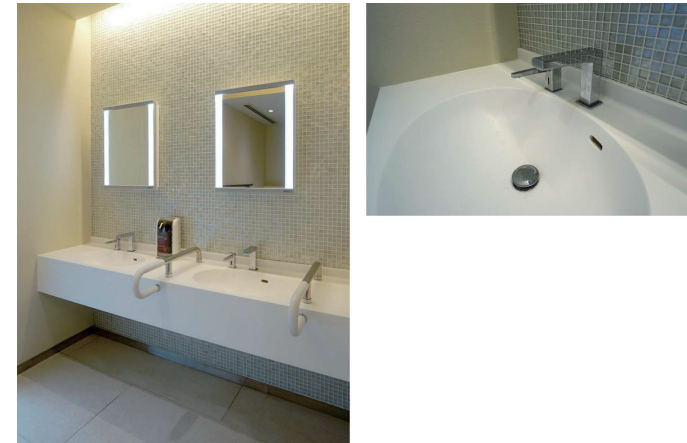
キッズトイレ

キッズトイレの洗面器は、お子様の使いやすさに考慮し、低めに設置した壁掛ハイバック洗面器を採用。壁吐水のため、水じまいもよく清掃性に優れている。



キッズトイレ

幼児用大便器ブースには、3~5歳児向けの幼児用大便器を採用。使用中の身体を保持するために、大便器・小便器ともに手すりを設置。すぐ横には荷物置きや保護者の付き添い、休憩に使用できるベンチも設置している。



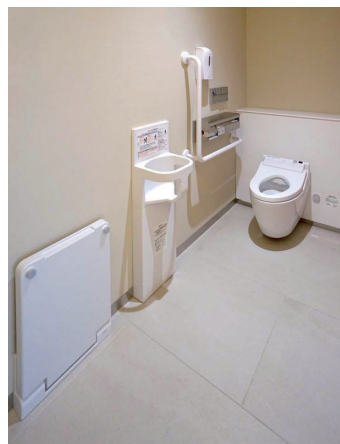
男性トイレ 洗面コーナー

洗面コーナーでは、隣人の視線が気にならないように個別鏡を採用。鏡は、顔に影がでないよう両サイドに照明が付いた、LED照明付鏡を設置している。



男性トイレ 小便器コーナー

シンプルなデザインで、清掃性に優れたマイクロ波センサー壁掛小便器セットを採用。さまざまな利用者に配慮して、1ヶ所に小便器用手すりを取り付けている。



男性トイレ ひろびろブース

乳幼児連れ配慮として、男性トイレにも、おむつ交換ができるようにベビーシート、ベビーチェア、フィッティングボードを設置したひろびろブースを用意している。



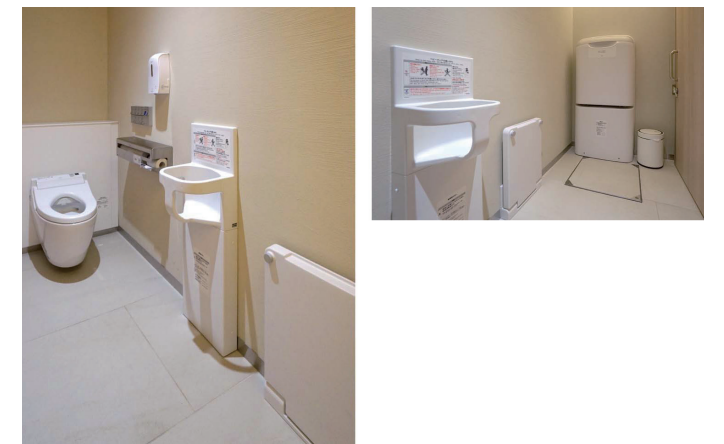
女性トイレ 全体

利用者の快適性が考慮された照明計画。洗面コーナーはお化粧直しに配慮して明るい空間。大便器コーナーはゆっくり落ち着いて使用できるよう、照度を下げた空間としている。



女性トイレ 洗面・スタイリングコーナー

ダイナミックなR形状を施した、洗面カウンターとスタイリングコーナー。鏡は隣人の映り込みに配慮した個別鏡とし、お化粧直しの際、顔全体に光が均一に当たるように設計されたLED照明付鏡を設置している。



女性トイレ ひろびろブース

バリアフリートイレの利用集中を分散させるため、ベビーカーごと入ることができるひろびろブースを1ヶ所設置。また、手荷物に配慮してすべての大便器ブースは、1100mm×1670mm以上を確保している。



# 沖縄こどもの国



大便器ブース

大便器は、床の清掃性に優れた壁掛大便器セット・フラッシュタンク式を採用。また、災害や停電などの緊急時に配慮し、洗浄レバー付き(BCP対応)としている。



バリアフリートイレ

すっきりとした印象のコンパクト・バリアフリートイレバックを採用。車いす使用者のほか、オストメイト、大型ベッド使用者、乳幼児連れに配慮した設備を備えている。



手荷物配慮

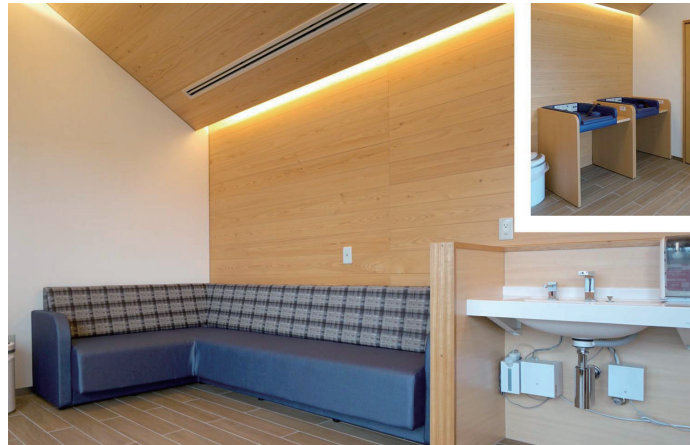


家族連れが一日、園で過ごすには多くの荷物を持参することが想定されるため、スムーズに利用できるよう手荷物への配慮を充実。フックや奥行き250mmのライニング、フィッティングボードなどを要所に配置している。



ベビーケアルーム入口

乳幼児連れのお客さまが、落ち着いて利用できるよう別棟としたベビーケアルーム。男女問わず入室可能で、入口には利用者や目的をイメージしやすいサインがわかりやすく表示されている。



授乳室・おむつ交換コーナー

ひろびろとしたソファとおむつ交換スペースを設置。また、授乳前後の衛生面に配慮して、洗面器に自動水栓、自動水石けんが備えられている。



授乳ブース



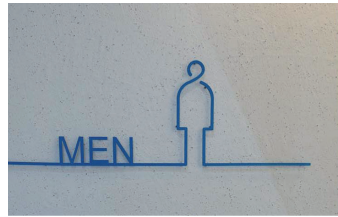
空調が整備され、親子で快適にゆったりと過ごせる授乳ブース。大きめのソファを用意し、授乳前後に赤ちゃんをソファに寝かせることができるようにしている。また、化粧鏡や授乳時間を計れる時計も用意している。



洗い場デッキ



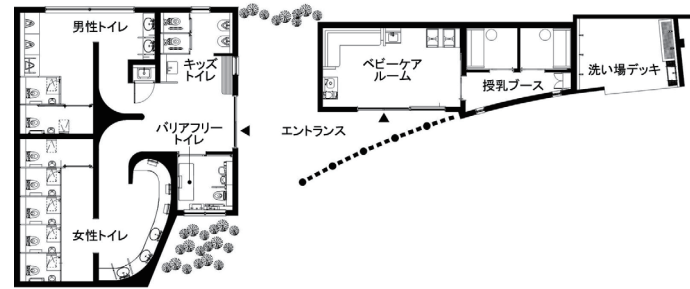
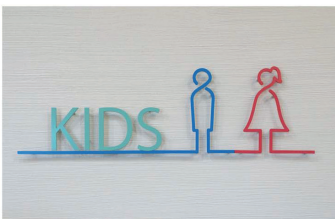
水とみどりの広場では、お子様が裸足になって遊びまわることが想定されることから、手足が汚れた後もしっかり洗えるように、トイレ棟の端にシャワーやオートストップ水栓を設けている。



トイレサイン



いのちの縦のつながりと生きることの横のつながりを表した施設の基本理念から考えられたオリジナルビクトは、一本のラインで“つながり”を表現したデザインとなっている。



トイレ図面

トイレとベビーケアルームを分けた構成。自動ドアを設け鳥類や虫の侵入を防ぎ、各室内には空調を整備することで、沖縄の強い日差しや突然の降雨への対策にも一役買っている。

## 水まわりの特長

### 建物の特徴

「沖縄こどもの国」は、沖縄県内で唯一の本格的な動物園、ワンダーミュージアム、チルドレンズセンター、ふるさと園から構成される複合体験施設。まだ沖縄が米軍の統治下にあった1970(昭和45)年に、本土復帰記念事業として、“こどもたちの夢と希望を育み、人をつくり、環境をつくり、沖縄の未来をつくる人材の育成”を目的として設立され、日本一ユニークな施設像を追求。観光施設としての魅力をも備えた施設を目指し、広く県民に愛されてきた。基本理念は、つながりを感じ、生み出す場所「ツナガリウム」。いのちの縦のつながりと生きることの横のつながり、そしてその融合と深化を考え、知識を行動へと発展させることができるこどもたちを生み出す場とするため、施設の整備、充実を推進している。

### 水まわりの特長

このたび、水とみどりの広場横に新設されたトイレは、広場に終日滞在することを想定して検討。お子様や乳幼児連れの方が使いやすいトイレを目指した。「ツナガリウム」のコンセプトにあわせた、サインデザイン。エントランスから洗面コーナー、さらには大便器コーナーへ移動する際にだんだんと落ち着けるような照明の演出。また手荷物にも着目し、お子様の着替えやレジャー用品など大きなバッグを持ち込んでもスムーズに利用できるブースの広さを実現。また、災害や停電などの緊急時に配慮した洗浄レバー付き(BCP対応)の壁掛大便器セット・フラッシュタンク式の採用など随所に細やかな配慮が生きている。また新設するにあたり、衛生的で清潔なトイレ空間を維持するため、乾式清掃を採用している。

### 建築概要

名称	沖縄こどもの国
所在地	沖縄県沖縄市胡屋5-7-1
施主	沖縄市役所
発注者	沖縄市役所企画部プロジェクト推進室
運営	公益財団法人 沖縄こどもの国
設計	有限会社 みき建築設計
施工	建築 有限会社 内盛産業
竣工年月	2022年3月
敷地面積	209,306.2㎡
建築面積	117.4㎡(トイレ)
延床面積	116.7㎡(トイレ)
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上1階

### おもなTOTO使用機器

- 壁掛大便器セット・フラッシュタンク式:UAXC3CSI
- ウォシュレットPS(擬音装置「音姫」付きエコリコモコン):TCF5534AU
- ウォシュレット アプリコットP(温風乾燥付きエコリコモコン):TCF5840AUPN
- スベア付紙巻器:YH163 R/L S
- マイクロ波センサー壁掛小便器セット:XPU21A
- ハイドロセラフロアPU:AB690BR
- 壁掛ハイバック洗面器:LSA135EB
- マーブライトカウンター(ポウルー一体タイプ):MK50
- 台付自動水栓:TLE25506J
- 自動水石けん供給栓:TLK08S04J
- コンパクト・バリアフリートイレバック:UADBK61R1A1ADN1WA
- 収納式多目的シート:EWCS20ARS
- 幼児用大便器:CS300B
- 幼児用小便器:U310GY
- ベビーシート:YKA24S
- ベビーチェア:YKA15S
- フィッティングボード:YKA41R
- 幼児用手すり:YYB10P2S
- LED照明付鏡(化粧照明タイプ):EL80013